

民主島根

2024年
9.22
第1456号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

共産党躍進こそ政治変える力 島根原発2号機 絶対動かさない

松江 垣内 衆院比例、むらほ 衆院1区 らが宣伝



宣伝する(左から)むらほ、垣内、尾村の各氏ら(松江市)

日本共産党の垣内京美衆院中国ブロック比例予定候補は15日、松江市で宣伝し、暮らしを支え、平和で生きていく力になるのが共産党だと強調。「共産党が伸びれば、政治を変える確かな力になる」と訴え、支援を呼びかけました。

再生することができると強調し、最低賃金の引き上げ、学費ゼロを実現したいと述べました。むらほ氏は「島根原発2号機は絶対に動かさない。みなさんと力を合わせて頑張っていく」と訴え、

えました。垣内氏は、中国電力島根原発も視察。また、大田陽介県議とともに7月の大雨で県道が崩落した出雲市大社町日御碕地区を調査し、飲食・土産物店などで要望を聴取しました。



調査する垣内氏(左)と大田県議(出雲市大社町日御碕地区)

雲南 国政でも市政でも共産党伸ばして むらほ氏、上代市議が街頭宣伝

日本共産党の、むらほえりこ衆院島根1区予定候補は8日、雲南市議選(11月10日告示・17日投票)で3期目をめざす上代かずみ市議とともに雲南市内で宣伝しました。(写真)

むらほ氏は、裏金問題や統一協会との癒着など自民党が組織ぐるみで引き起こした問題について「国民の怒りと赤旗スクープ、党の論戦が岸田政権を退陣に追い込んだ。今、総裁

選が話題になつているが、自民党の中で表紙をかえたところで古い体質は変わらない」と批判。「総選挙で古い体質の自民党を終わらせ、希望ある社会をともにつくろう」と訴えました。上代氏は、この間、党を取り組んだ市民アンケートに寄せられた暮らし



選が話題になつているが、自民党の中で表紙をかえたところで古い体質は変わらない」と批判。「総選挙で古い体質の自民党を終わらせ、希望ある社会をともにつくろう」と訴えました。上代氏は、この間、党を取り組んだ市民アンケートに寄せられた暮らし



党城北支部が続けている、まちかど演説で訴える、むらほ氏ら11月4日、松江市

総選挙、松江市議選勝利へ むらほ氏ら先頭に 集い、宣伝

参加者からは「原発が不安という話をよく聞く。安全性はないし、避難はできない。なくすべき」「台風の時ですら避難所に行けない。原発事故が起きたらなおさら避難できない」「暮らしの格差がある。猛暑が続く中で電気代を気にして冷房を使わない家庭も多い」「地域の子どもが減っている。もっと住みよい松江にしてほしい」などの意見や要望が相次ぎました。

社会主義、共産主義の展望学ぶ 夏合宿で感想交流

貧富の格差拡大や深刻さを増す気候危機など資本主義社会の矛盾を明らかにし、社会主義・共産主義社会へ進む展望を学び合うため、民青同盟島根県委員会は8日、夏の学習会を行いました。亀

谷ゆう子衆院島根2区予定候補も参加しました。今年4月に民青主催の「学生オンラインゼミ第3弾」で行った志位和夫議長のパフォーマンス、志位氏の著書「Q&A共産主義と自由 資本論を導

き」を読み合わせて交流しました。同著書では「人間の自由」があらゆる面で保障され、豊かに花開くことが社会主義・共産主義社会の特質だと指摘しています。

参加者は「地球の歴史からみれば、資本主義社会はごく短期間だと考えらる」と、人間らしく生きられる自由な社会はすぐそこまで来ている様な気がする「などと語りました。

交流では「今はお金を得るために働いているが、もうけを追求するのはなく、労働の目的が変われば、自分の生き方そのものが変わるかもしれない」などの感想が出されました。

みも話し合いました。集いでは、むらほ氏があいさつ。(写真)

舟木市議が市政報告し、樋野氏が決意表明しました。